

まるごといんばぬま

～人を繋ぎ・想いによりそい・未来へ紡ぐ～

令和5年2月28日

まるごといんばぬまプロジェクト

副代表兼事務局長 久保田隆志



POSITIVE
&
HAPPY

自己紹介



POSITIVE & HAPPY

まるごといんばぬまプロジェクト
副代表兼事務局長 久保田隆志

実は

千葉県環境生活部循環型社会推進課
環境保全活動推進班 久保田隆志

今はたまたま

- | | | |
|------------|--------------|---|
| H 4 ~ 20 | 県税業務 | → 主に脱税の取り締まり・・・ 税の尊さ |
| H 20 ~ 24 | 少子化対策 | → 保育所や学童保育の運営や整備、
児童手当、子育て支援策の創案
・・・ 子どもの尊さ、当時者意識 |
| H 25 ~ 27 | 地域出先事務所の企画担当 | → 人口減少と少子高齢化対策など・・・ 地域の尊さ |
| H 28 ~ 29 | 地域交流推進 | → 総合計画策定や移住施策など・・・ 県の役割 |
| H 30 ~ R 3 | 観光客受入 | → オリパラに向け、観光地の受入環境整備や
「思いやり・スマイル・クリーン」を合言葉に
した受入機運の醸成・・・ 協働、結節点の自覚 |
| R 4 ~ | 現職 | → 3Rの推進（プラごみや食品ロス削減）
環境保全活動の推進（環境学習等）・・・ 公私混同？ |

何がしたいのか



POSITIVE & HAPPY



何がしたいのか



POSITIVE & HAPPY



印旛沼について

千葉県内でも比較的人口の多い千葉市、船橋市、成田市、佐倉市、八千代市、鎌ヶ谷市、四街道市、八街市、印西市、白井市、富里市、酒々井町、栄町の13市町を流域とし、流域面積494km²（県面積の約10%）の範囲に約80万人が暮らしている。

県民の水道水源や工業用水・農業用水の水源として利用されるほか、漁場及び県民の憩いの場としてかけがえのないものとなっている。

一方、CODの年平均値は昭和40年代から現在に至るまで、10mg/Lを境として数年間隔で周期的に変動している傾向があり、平成23年度から7年連続全国ワースト1位を記録した期間を含み、現在まで高止まりの状況が続いている。



流域市町＝地域素材として活用を望む。

県＝管理部門（環境・土木）が主体的に関与。

- ・ 印旛沼水質保全協議会（水質管理部門）
- ・ 印旛沼流域水循環健全化会議（河川管理部門）

活用部門（産業・観光等）の関与が薄い。

何がしたいのか



POSITIVE & HAPPY

印旛沼は管理者によって「汚い」「危ない」のようなネガティブワードで発信されがちで、地域の住民や事業者に近寄ってもらえない。

そこでまずは、「美しい」「楽しい」のようなポジティブワードで発信し、地域の住民や事業者に近寄ってもらい、沼の周囲にある様々な活動や課題への寄与を促す。

そして、印旛沼は魅力や価値の高い場所ということを地域の自慢に繋げ、その魅力や価値を地域活性や行政効率の向上に繋げていく。

ポジティブワードの発信 = ポジティブメディア

何がしたいのか



POSITIVE & HAPPY

方向性① 課題を価値に



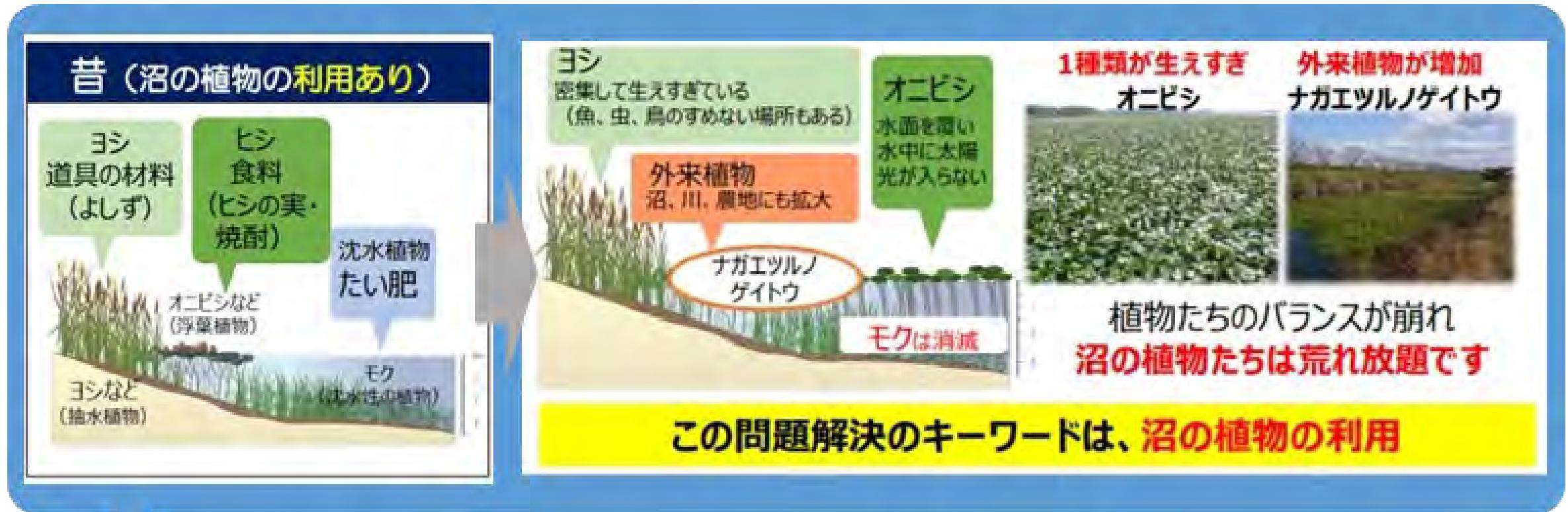
「駆除」 「処分」 から 「収穫」 「活用」 へ = 地域文化の形成

何がしたいのか



POSITIVE & HAPPY

方向性② 原点回帰 → 生物多様性の保全・循環型社会の再構築



印旛沼の植物、昔は資源として利用していたのに
今はお金をかけて駆除、処分しています。
もし、再び地域で、植物資源を利用する仕組みができれば・・・

地域で再利用する仕組み？



- ・ たい肥化
- ・ バイオ炭
- ・ バイオマス燃料
- ・ バイオマス発電 など

何がしたいのか



POSITIVE & HAPPY

方向性③ 価値の創造



印旛沼に感じる可能性

- 人口集積地の近傍
 - 成田空港との位置関係
 - 風光明媚
 - 平坦な立地と穏やかな水面
 - 身近な歴史
 - 農業や治水等に関する様々な構造物や田園風景
- 富裕層、ワーケーション、環境学習
 - 国内外からの集客、トランジット
 - カメラ等の趣味
 - 周辺観光施設との連携
 - 各種レクやスポーツ（≒健康）
 - ユニバーサルツーリズム
 - 田沼意次、佐倉惣五郎、周辺の祭り・・・
 - インフラ・農業ツーリズム

何をしているのか



POSITIVE & HAPPY

多様な主体間における認識の共有

■ シンポジウムのご報告 ■
～ 人を繋ぎ・想いによりそい・未来へ紡ぐ～
まるごといんばぬま 2021年度シンポジウム
令和4年2月5日(土) 20:00～22:00



シンポジウムに参加または動画視聴された皆様はアンケートにご協力をお願いします

◆アンケートフォーム <https://forms.gle/V5uDPR7wG3Kfepzz8>



オンラインシンポジウム・定例ミーティング等の開催
環境・農業・子育て・飲食・広報など様々な分野にわたる、
地域団体・事業者・行政・学識など様々な主体が参加

何をしているのか



POSITIVE & HAPPY

体験・交流イベント開催



沼周辺の観光施設（キャンプ場）で、沼の魅力（夕日）を見ながら、皆で「沼の恵み」（地域食材）を食するイベントを開催

- ① 印旛沼に来たことが無い人には、沼に訪れる機会として
- ② 知見や技術を持つ人には、印旛沼の諸課題を理解する機会として

何をしているのか



POSITIVE & HAPPY

体験・交流イベント開催



オニビシ狩り



忍者体験
(マキビシ&オニビシ飯)

忍道家をお招きし、沼に大量繁茂するオニビシを題材に、子育て支援団体（里山プレーパーク）と忍者体験イベントを開催

- ①道具（マキビシ）や食材としての価値を地域の親子に周知する機会として
- ②オニビシ飯に印旛沼周辺の湧水や米を使い、地域素材に触れる機会として

何をしているのか



POSITIVE & HAPPY

体験・交流イベント開催

①事前交流・知識共有



印旛沼イメージソング
「Home Town」 by ゆうなみ

②現地活動



③振り返り・交流機会

- ・現地確認&ごみ拾い
- ・音楽ライブ
- ・沼の恵み実食

ナガエツルノゲイトウを題材に年間を通じたイベントを開催

- ①県駆除助成金活用。駆除が目的ではなく駆除を一般に見せることが目的。
- ②振り返りは再繁茂を見て虚しさを共有する場。音楽と食でより思い出に。

何をしているのか



POSITIVE & HAPPY

有識者等を招いた茶話会（人脈と知見の蓄積）



メンバーの属人的繋がりやSNSなどで繋がりを持たせた方々をお招きし、その技術や知見等から見た印旛沼の可能性についてお話を伺う。

ここで紡いだ縁は、日々の活動や行事の開催等で頼りにさせていただいている。

これまでの主な茶話会

当該研究事業者・大学教授	オニビシの有効利用について
当該技術保有事業者	未利用水生生物のバイオエタノール化について
地域内薬品卸売事業者	地域の老舗事業者の取組について
忍道家	オニビシの有効利用について
当該技術保有事業者	ナノバブルの可能性について
地域内住宅販売事業者	地域の住宅メーカーの取組について
地域出身落語家・歌手	印旛沼流域から発信する文化芸能について

何をしているのか



POSITIVE & HAPPY

周辺活動等との関係づくり



農園主催のイベントに参加



パラカヌーの
イベントに参加



プレーパークに資材提供
(おさんぽビンゴ)



鮎竿師の工房を訪問



行政主催の会議に参画

何をしているのか



POSITIVE & HAPPY

様々な縁を通しての交流関係づくり

みんなで歌おう♪

印旛沼イメージソング「Home Town」



印旛沼に縁を持つ文化・芸能人



県内各地への遠足



縁ある場所の 訪問・見学



流域内各地のイベント



沼の恵みの実食

何をしているのか



POSITIVE & HAPPY

情報発信



youtube.com
【ナガツルノゲイトウ】印旛沼イメージ向上！千葉県八千代市を応援!!



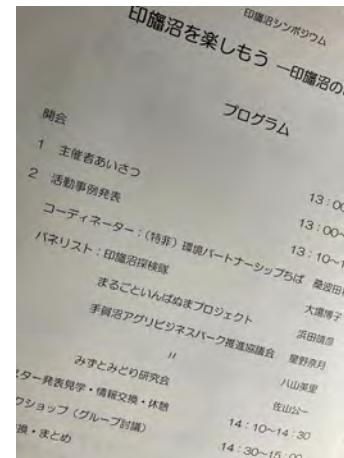
沼の生き物を伝える
缶バッジ・おさんぽビンゴ

地域メディアへの出演



刊行物

「まるごといんばぬま通信」



地域イベントへの 出展・登壇



SNS (写真はFacebook)



YouTube

「まるごといんばぬまチャンネル」

誰がやっているのか

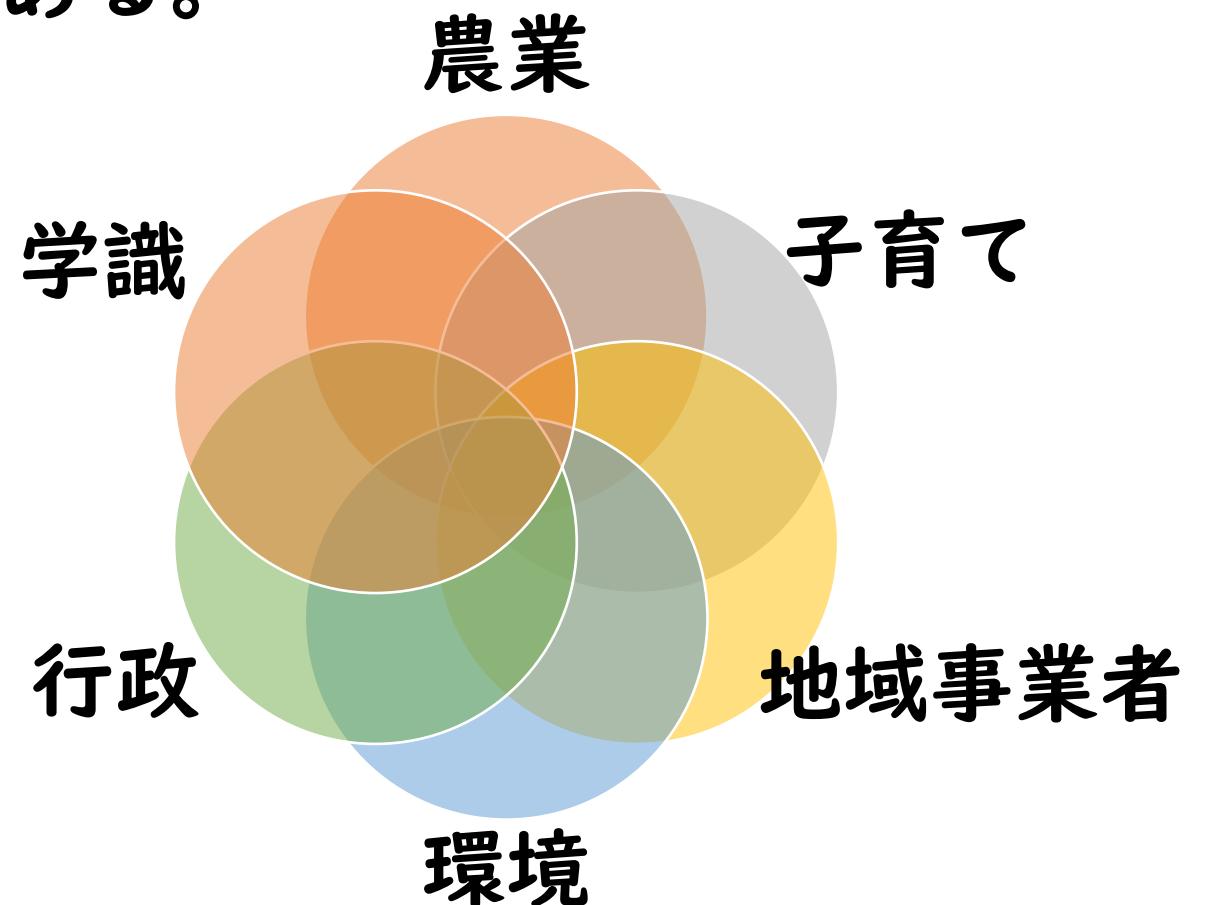


POSITIVE & HAPPY

印旛沼の現状に疑問を持ち、当プロジェクトの方向性に共感した者たちで緩い集団を形成している。（現在20名ほど）

それぞれが本籍となる別活動を有しており、当プロジェクトを主体として何らかの活動を行う場合は、その時の状況次第で、動ける者が動ける範囲で動くことになる。

いわば「印旛沼」を共通の題材に、この活動が自分の主活動にとってメリットとなる者の集まりである。



今後の予定



POSITIVE & HAPPY

春のまるごみ印旛沼（6月10日（土））

当団体の理念に共感する企業や各種団体などとともに海洋プラスチックごみ削減も念頭に沼周辺及び水面のごみ拾いを行う。

水面のごみ拾いはEボートやカヌーなどで行い、印旛沼の楽しさも伝えていく。

さらに、参加者に、印旛沼とユニバーサルツーリズムとの親和性の理解を促すため、パラカヌー実演を調整中。

秋のまるごみ印旛沼×収穫&文化祭（11月）

沼への感謝を念頭に、環境美化と共に沼にちなんだ食や文化・芸能を楽しむイベントを開催する。

検討中

流域と歴史を実感するため、佐倉惣五郎の歴史を織り交ぜ、湧水（谷津田など）から沼までのウォーキングイベントを開催する。

おわりに



POSITIVE & HAPPY

世界中で起きている様々な環境問題は、人の過剰な欲が生み出しているもの。現代の政治や経済、報道は、私たちの選択の結果です。環境の保全とは、誰もが安心して生活できる環境を保つということであり、これはすなわち平和を保つということです。

子ども達やまだ見ぬ子孫達に良好な環境を残すためには、今を生きる私たち全員が自分事として選択し、行動しなければなりません。そのためにはまず、皆に「知ってもらおうこと」が必要です。考えが特定の分野に偏っていたり、難しい言葉を並べたりしても、皆には伝わりません。

「まるごといんばぬまプロジェクト」は、印旛沼の良いところも悪いところも、皆にまるごと知ってもらい関わってもらえるよう、

「人を繋ぎ・想いによりそい・未来へ紡ぐ」

ことを大切に、これからもわかりやすく取り組んでいきます。



POSITIVE & HAPPY

御清聴ありがとうございました。

知見や技術、資機材、資金の提供等、
この活動への御協力をお待ちしています。

お申し出フォーム

<https://forms.gle/i3wEvARPWVUbfXy77>



【Facebook】 [marugotoinbanuma/](#)

【Instagram】 [@marugotoinbanuma](#)

【Twitter】 [@marugotoinba](#)

【YouTube】 [@user-fg6zt3mj6l/featured](#)

【HP】 [marugoto-inbanuma.com/](#)

検索

まるごといんばぬま